

“動悸を感じたら”

危険な不整脈
心配のない不整脈

吉村内科
野間健司

動悸とは？

1. 心臓の打ち方が速くなったり、遅くなったり不規則になった場合に感じる違和感ないし不快感
2. 正常でも運動中、または運動後に増加した心迫のため動悸を感じる
3. その不整脈に慣れていないと感じないが、敏感な人は少しの不整でも動悸を自覚する

不整脈の起こる場所による分類

1. 心房を中心とした不整脈
 - 洞性頻脈
 - 上室性期外収縮
 - 右脚ブロック
 - 心房粗動
 - 心房細動
2. 心室を中心とした不整脈
 - 心室性期外収縮
 - 心室頻拍
 - 心室細動
3. 心房心室にまたがる不整脈
 - 発作性上室性頻拍
4. 徐脈
 - 洞不全症候群
 - 房室ブロック

診断するために

1. 問診: いつから、どのくらい続く、つらい?
2. 診察: 脈の不整の程度、心雑音、むくみ?
3. 胸部レントゲン: 心胸郭比、肺うっ血?
4. 心電図: もっとも大切 3分間心電図が有効
5. 心エコー: 弁膜症、心肥大、心機能の評価
6. 24時間心電図: 重症度判定に必要

心配のない不整脈

心配のないもの

洞性不整脈

右脚ブロック

上室性期外収縮

心機能の保たれている心室性期外収縮

出現頻度の少ない心室性期外収縮

危険な不整脈

比較的危険

洞不全症候群

発作性心房粗動

心不全を伴う心房細動

非常に危険な不整脈

心室頻拍

心室細動

房室ブロック

治療を要する不整脈

1. 生命予後を脅かす危険なもの
 - 心室頻拍
 - 心室細動
2. ただちに死に至ることはないが、合併症を引き起こすもの
 - 心房細動に併発する心不全、脳梗塞
3. 自覚症状の強いもの

不整脈の治療法

1. 生活習慣の改善
 - 節酒
2. 薬物療法
 - 安定剤
 - β 遮断薬
 - 抗不整脈薬
3. 非薬物療法
 - カテーテルアブレーション
 - ペースメーカー

動悸を感じたら

- 1.不整脈はポッキリ逝く危険なものもあるが、心配のないものも多いので、必要以上にこわがることはない
- 2.そのためには診断が大切であるので、診察、検査を受けること
- 3.必要ならば専門医のアドバイスを受ける
- 4.抗不整脈薬はよく効くが、比較的副作用の多い薬剤なので、きちんと服薬し、定期的な診察を受ける
- 5.究極の治療法としてのアブレーション、ペースメーカーは有効である
- 6.病気を理解して、いい人生をおくりましょう